

文化財まち歩きマップ (信州の鎌倉・塩田平コース)



②安楽寺八角三重塔



⑧大法寺三重塔



⑦生島足島神社御本社本殿内殿



※写真は御本社外観

生島足島神社歌舞伎舞台



生島足島神社摂社諏訪社本殿及びび門



③中禅寺薬師堂



⑤前山寺三重塔



⑥西光寺阿弥陀堂



①常楽寺石造多宝塔



未知を歩こう。
信州



長野県観光PRキャラクター「アルクマ」



半日 (5~6時間)
約10kmコース

マップ作成 長野県教育委員会事務局
東信教育事務所総務課
お問い合わせ 電話: 0267-31-0250

平成24年10月作成



①常楽寺石造多宝塔（国重要文化財）

多宝塔の形は土台石の上に横長の直方体の石をのせ、幅の広いひさしをさしかけている。その上部には円筒形の身舎を造り出しその上に笠をのせ、一番上に細長い相輪を立てている。常楽寺多宝塔もこれと同じ形で総高274.0cm、塔身は厚味のある四角形の石でがっちりとして上部を支えている。笠の背は低く降くだり棟[むね]の反[そ]りもわずか、軒先の切口は厚く四角[よすみ]で少しはねあげ、軒端を垂直に切っている。こうした重厚で堂々とした風格や造り方からみて、鎌倉期多宝塔の代表といえよう。



②安楽寺八角三重塔（国宝）

鎌倉時代に中国から渡って来て、たいへん盛んとなった仏教に禅宗という流れがあるが、安楽寺はその禅宗としては、鎌倉の建長寺などと並んで日本では最も古い臨済禅宗寺院の一つ。天正十六年(1588)ころ、高山順京が曹洞宗に改めた。

その安楽寺にある木造八角三重塔は、木造の八角塔としては全国で一つしかないという貴重な建築で、長野県では一番早く「国宝」に指定された。「国宝」といえば、「世界的にみて国民の宝とすべきもの」「文化財保護法」となっているので、この塔は長野県が世界に誇る貴重な文化財ということになる。



③中禅寺薬師堂（国重要文化財）

この薬師堂は「方三間[ほうさんげん]の阿弥陀堂[あみだどう]という形式。方三間というのは、東西南北のどちらから見ても柱が四本立っていて、間が三つあることをいう。柱と柱の間を間[けん]と呼ぶ。約八百年前の長野県最古の建物であるばかりでなく、中部日本(中部地方・関東地方)を通じて最も古いといわれるお堂が、仏(薬師如来像)といっしょに、この塩田平に残っていることはすばらしいことである。



④塩田城跡（県史跡）

神戸[ごうど]川と御前沢[ごぜんざわ]にははさまれた南北約700m、東西の最大幅約180mにわたる山腹一帯には、二十数段に及ぶ階段状の帯郭[おびくるわ]がみられ、また、その北側前方部の空堀跡の向かい側には広い平坦面が続き、城跡の大きさが想像される。さらに、その北方前面には、かつての侍[さむらい]屋敷町の面影をよく残した東前山の集落が、南北約700m、東西約200mにわたって展開している。



⑤前山寺三重塔（国重要文化財）

「未完成の完成の塔」とよく言われるようにこの三重塔の二層、三層には縁や手すりがない。胴貫だけが突き出していて独特の風貌がある。室町時代初期の作との推定で和様と禅宗様の折衷様式である。屋根は柿葺。前山寺は中世塩田城の祈願寺と言われ、本尊は大日如来。大勢の参拝客、観光客が年中訪れるが、三重塔を中心に寺域は整然と整備されている。



⑥西光寺阿弥陀堂（県宝）

寺の伝えでは空海が小堂を建て、塩田北条氏が開基となり足利鶏足寺の実勝和尚が開山し寺を開いたとされている。室町時代後期16世紀前半の阿弥陀堂である。平成元年に行った修理工事で正面3間、奥行き4間の当初の形式に復元された。道沿いからお堂の姿が良く見える。



※写真は御本社外観

⑦生島足島神社御本社本殿内殿（県宝）

生島足島神社摂社諏訪社本殿及び門（県宝）
生島足島神社歌舞伎舞台（県宝）

平安時代の「延喜式」に登場する古い形式を伝える神社である。また、諏訪社は上田藩主真田信幸の篤志でも知られている。県宝に指定されている3棟の文化財のほか、国重要文化財の武田信玄願文もあり、歌舞伎舞台に平常この関係資料が展示されており、資料館的な役割も果たしている。同じ敷地内に3棟もの県宝が林立している場所は珍しく貴重だが、神社職員や地元、氏子の皆さんの努力で安全に文化財が守られている。



⑧大法寺三重塔（国宝）

惣門から参道を登ると正面に観音堂があり、西北の小高い丘に三間四方の檜皮葺(ひわだぶき)「三重塔」が中空に舞う鶴の羽のような優雅な姿をみせる。東山道を旅する人々は「見返りの塔」といい塔の姿があまりにも美しいので、思わずふり返るほどであるという意から、つけられたであろうと言われている。

この塔の美しさには、周囲の風光との調和を見落とすこともできない。平地を見おろすことのできる丘の中腹にありその周囲をめぐる歩みにつれて、さまざまな角度から眺めることができる。